

**2018 年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 英語英米文化学科 1 年（留学年次） 2 年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 オーストラリア国立大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018 年 2 月 19 日 ～ 2019 年 10 月 26 日 出国日 2018 年 2 月 7 日 最終帰国日 2019 年 12 月 9 日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第 1・2 回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

最初は大変だった、と言ったら今でもそれは変わりありませんが、今思うと良い経験、良い思い出だなど思えるものになりました。もう少しその時感じた焦りや危機感に対して樂觀的になりすぎず、英語四技能を自分自身で磨いていればよかったなあと思う部分もあります。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

リスニングです。予想を遥かに上回る難易度でした。「人に聞かせるため」に作られたニュースやラジオ、ドラマの次元ではなく、「自由に話す人たち」の英語を聞く機会が前もってあればあるほどよかったのかなと思います。

2. 留学先大学について

（1）留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

教授に自分の悩みや、ついていけるかの相談などはどんどんして良いと思います。自分のことを覚えてもらえるし、一人で悩まなくていいのだと力強くいられます。メールでもなんでもして、アポイントメントを取る作業を怖がらずしてみてください。どの教授も優しく話を聞いてくれます。授業の進度はなかなか早いですが、もしかしたら留学生のような少し弱い立場の生徒からの「ついていけません」という声で授業進度や形態が変わるかもしれません。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

建物のデザインが近代的でカッコいいです。シドニーやメルボルン、アデレードの大学にあるような伝統的な建造物は少ないですが、緑も多く首都らしいシンプルさがあります。私がいた頃から学内の工事が大きく進行し、教室までの道のりが遠回りになったり、仮道路になったりしましたが、特に気になりませんでした。今後新しい建物がどうなるのか、見てみたかったです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生対象の講座は私の知る限りないです。授業開始前の o-week というオリエンテーション期間に、essay seminar や examination tips などテーマにした説明会やセミナーがあったと思いますが私は参加しませんでした。留学生向けではなくどの生徒に向けても、writing assignment を綺麗に書き上げるためのサポートを無料でしてくれる団体もいたため、予約してみるといいと思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

私のいた寮、Bruce Hall (建物名は SA 5、今は Wamburun Hall に改名)では、International rep. のメンバーを主体として定期的にオーストラリア出身の生徒以外を対象としたイベントがありました。アジアの文化を重視している傾向があり、SUSHI NIGHT や、中国の Moonlight Festival (月餅を食べる会) などたくさん行われていました。積極的に参加してください。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

奨学金情報についてはよくわかりません。現地の生徒でさえも取得するのが困難だと聞きました。優秀な成績、寮でのステータスや所属団体などが考慮されるため、ANU に正規生として在籍している学生のためだと基本思っていたので申し訳ないですがわかりません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

とても良いです。市内に行くとホームレスの人がウロウロしていますが基本無視していれば大丈夫です。いらないな、と思った小銭などたまに寄付していました。

毎週木曜日は学生のための夜で、夜 10 時らへんから近くのクラブに繰り出す風習があり、帰りは朝の 2、3 時になることもありましたが、みんな徒歩で帰っていました。

怖いのは野生動物です。カンガルーも森から降りてきたりもするので、出くわすことは基本ないですが気をつけてください。

冬場は寒いですし、人が少ないと歩くのも怖いと思うので、Uber で帰ったり深夜まで走っている、ANU security というバスを呼ぶことも可能です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

勉学に励み、自然に触れ、地元のイベントを楽しみ、治安も良い、留学という短い期間でオーストラリアでトップの大学ということをして全て考慮すると非常にいい環境だと思いま

す。現地でまだ在籍している友達とは今でも連絡を取っているのです、もし現地生に聞いてほしいことなどあれば、取り次ぎ等しますのでぜひご連絡ください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮/~~アパート~~/~~ホームステイ~~/~~その他 ()~~

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1052ドル、(日本円) 約 10万円

(3) 食事

~~食事付き (朝・昼・夕)~~/~~自炊~~/~~その他 ()~~ 時に寮食で一食7ドル

(4) 大学までの交通手段、所要時間

~~徒歩~~/~~自転車~~/~~バス~~/~~地下鉄~~/~~その他 ()~~、計 15～20分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

寮費は高いですが、理由は新しい建物で設備も完備していたからだと思います。
トイレ、シャワーの共有が嫌だという生徒もいましたが、私は気になりませんでした。

4. 費用について

(1) 学 費

協定内留学のためなし。

(現地通貨) 約、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

~~飛行機~~/~~船舶~~/~~その他 ()~~、(日本円) 約 7～8万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 1500ドル、(日本円) 約 15万円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

~~インターナショナルキャッシュカード~~/~~クレジットカード~~/~~国際ブランドプリペイドカード~~

／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

寮費の引き落としは、受付でのクレジットカード支払いか、オーストラリアの銀行口座からの引き落とししか認められていないことがあるので、到着後すぐに銀行口座の解説をお勧めします。寮の家賃引き落とし用の口座と、生活費用の口座は別々にして、寮の家賃は一年分の寮費を計算して、一括して一年分の送金を日本から親に頼みました。

JTB が VISA カードと提携している、マネーT というカードは前もって作りました。

これは日本で入金すると、オーストラリアドルに換算され、オーストラリアにあるどの ATM（指定されたマークがあれば）からも現金を引き出せる口座・カードです。VISA カード機能が付いているのになぜかマネーT 用カードでの支払いができなかったのがいまだに謎ですが、引き出した現金をオーストラリアの生活費用口座に入金して、デビットカード支払いをするようにしていました。なぜ現金で済ませないのか？という疑問があると思いますが、コインが貯まって面倒くさかったのと、オーストラリアの銀行のクレジットカードは支払い時に機械にタップするのが主流でそのタップを勝手にかっこいいなと思い、やってみたかったからです。ただ、マーケットなどに行く際とコインランドリーとする際は現金が必要なので、多少あるといいと思います。

人気の銀行は commonwealth bank ですが、westpac や ANZ も悪くないと思います。

また、アプリを使って入出金の確認をすること普及しています。友達への返金なども、アプリ上での transfer が普通なので、やってみてください。

（５）「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

全額寮費に当てました。

5. 保険について

（１）保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

OSHC（VISA 申請時に強制）

（２）保険料

258170円

（３）加入した保険の種類、内容

留学生・ワーキングホリデープラン11ヶ月→237980円

緊急一時帰国費用補償特約→27680円

（４）感想、良かった点・悪かった点

旅行先で行ったゴールドコーストには、日本人用のクリニックがあり、保険が適用できたので、体調が悪くなったときに保険に入っていてよかったと思いました。

ただ、キャンベラには日本の保険会社が適応できるクリニック、病院がありません。万が一かかってしまった場合は、OSHC の規定する範囲内の診察内容・診察費用なら保険が適用されます。

ANU が推奨する OSHC と連携する保険会社は Allianz ですが、意外と評判が良くありませんでした。おそらく、49%のみの保険金だからだと思います。ANU に頼らず、自分で OSHC の申請をするときに選ぶ保険会社（BUPPA がいいと聞きました）を見極めれば、保険金が 100%おりたりもするらしいです。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／~~船便~~／~~SAL 便~~／~~航空便~~／~~海外宅配便~~／その他（EMS 便）

(2) 持って行って良かったと思う物

日本で使っていた洗顔料、メイク落とし、サトウのごはん、醤油

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

大量すぎたカイロ、日本のお菓子（海外のを食す方が楽しいです）

(4) 持って行けば良かったと思う物

ある程度の自炊道具、洗濯バサミ、

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

朝ごはん、授業、昼ごはん、授業、料理、夕飯、友達と団欒、勉強、就寝

(2) 週末

朝ごはん、勉強、昼ごはん、ジム、料理、夕飯、友達と映画鑑賞、就寝

朝ごはん、買い物、外食、ジム、料理、夕飯、勉強、就寝

8. 後輩へのアドバイス等

一時帰国にならないよう、法律はしっかりと守り、自分の身の安全にも十分気をつけてください。友達同士の喧嘩もあるかもしれませんが、この人とはもう会えないから喧嘩別れはやめようという大きな心構えでいてください。オーストラリアの文化にはとことん触れてきてください。途中で遊びすぎたら、自分のしたいことがなんだったか、よく思い出してください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

毎年、日本人留学生、正規生のお世話をしている先生がいます。その方が、たくさんの生活用品を取り揃えているので、現地での無駄な出費を防ぐために早い時期に会いに行ってください。渡航前から連絡先が欲しい方は私に取り次ぎます。